



学校目標 ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成

にこにこ笑顔であいさつ いっしょうけんめい無言で掃除をする やさしさいっぱいなかよくする子
まじめにこつこつ勉強する子 ◎ こころと体をきたえ 進んで運動す

家庭教育学級～お金の大切さ、お金の使い方～

10月28日(木)の
授業参観は、たくさんの



保護者の皆様にご参観いただき、また、引き続き行われた家庭教育学級にも保護者の方々に講演を聞いていただきありがとうございました。

家庭教育学級では、佐賀県金融広報アドバイザー 木原美知子先生に「お金の大切さ、お金の使い方」という演題で、ご講演していただきました。講演では、配付資料をもとにしてお金の大切さについて話していただきました。また、消費者としてどのようにお金を使ったらいいのか、トラブルに巻き込まれないためにどうすればいいかなど、分かりやすく話していただき

ました。子どもたちが金銭感覚を身につけるためにはおうちの方々のアドバイスが重要です。また、家庭内のルールを決め、お金の正しい使い方ができているかを話し合うことも必要です。ご家庭でも、お金の大切さ、お金の使い方について話題にして、家庭内のルールづくりをしてください。よろしくお願いします。

(裏面：配付資料一部)

交通安全運動

10月28日(木)、PTAの方々に旗を持って立っていた

だき、校門前を通るドライバーに、安全運転を呼びかけていただきました。交通事故の報道は、毎日のようにされています。中には、横断歩道を青信号で



わたっている歩行者に車が突っ込むというような事故もあります。子どもたちには、日頃から、命を守るために交通ルールを守るよう指導を続けています。ご家庭でも、危険な場所を確認し、児童が交通事故に巻き込まれることがないように話をしてください。また、地域の方々、保護者の皆様も、事故を起こさないよう安

全運転をお願いいたします。

年賀はがき贈呈

11月1日(月)、仁比山郵便局長様より、今年度も、6年生に年賀はがきを贈呈して頂きました

た。この年賀はがきは、仁比山駐在所 佐々木様から指導していただく「防犯教室」で使うものです。

インターネットが一般的になり、年賀状や手紙離れが進む世の中になってきました。子どもたちには、これを機に、心を込めて年賀状を書き投函するという日本の習慣や文化に触れ、これからも、人とつながっていく大切さも学んでほしいと思います。



ふくろう博士からのアドバイス

ルールを守って使おう インターネットは危険がいっぱい!

インターネットにはたくさんさんの危険がひそんでいる

小学生が得意にまわれる消費者トラブルで一番多いのが、ケータイやパソコンのインターネットを通じて起きるトラブルです。インターネットを適正に利用し、お金をだまし取るうとする悪人もいます。ケータイやパソコンは便利な反面、危険なこともたくさんあります。また、オンラインゲームでお金を使いこんでしまうトラブルも多く発生しています。実際に、お金のやり取りがないため、インターネット上でお金を使っている感覚がないことが問題です。



使い方によっては高額な利用料金がかかるんじや

ネット情報にはウソや信用できないものも多いぞ

小学生に多く見られるインターネットのトラブル

ワンクリックさぎ

サイトにアクセスした(高た)だけで勝手に有料サイトに登録されてしまい、高い利用料金の支払を求められる。お金のせいでくわいする画面を閉じて立ち向度も立場もあがります。



お金を支払う必要はないので、無視しましょう。家の人に話しておくで安心です。

無料オンラインゲーム

遊んだ時間にかかった通信料やゲーム機の中に入った有料アイテムなどが原因で、ケータイの利用料金が高額になってしまつて無料では利用できません。



遊ぶときのルールを家の人と決め、有料サービスを使いたいときは必ず相談しましょう。

プロフによるトラブル

自己しょうかいサイト(プロフ)に公開した本名や住所、学校名、写真などの個人情報をもとに、いやがらせをされることがあります。また、悪質な犯ざいにつながることもあるので、注意が必要です。



むやみに個人情報を書きこまないようにし、ネット上で知り合った人を信用してはいけません。

考えてみよう! を考えるヒント
インターネット上の書きこみや情報は、だれが書いたのかはつきりわからないものが多いよ。その中には、悪いことをたくらむ人もいるんだ。

ふくろう博士からのアドバイス

買う前によく考えよう! 時にはがまんも大切

ムダなものを買わないようにしよう



本当に必要なものかよく考えてみるんじや

デザインだけでなく、値段も比べてみよう!

おこづかい帳をつけて お金を管理しよう



使ったお金と残っているお金を知ることが大切なんじや!

本当にほしいものがあるときは、貯金をするとよいぞ

わたしたちがもらっているおこづかいは、お父さんやお母さんが働いて得た大切なお金です。ムダにならないよう大切に使う必要があります。何かものを買うときは、それが本当に「必要なもの」かをよく考えるクセをつけましょう。限られたおこづかいの中で上手にやりくりし、「時にはがまんすることも大切」であることを覚えておきましょう。



本当に必要なもの?

おこづかい帳には「いつ・何を・いくらで買ったか」「残っているお金」などを記録しておきましょう。使ったお金と残っているお金が一目でわかるようにしておくことで、お金を管理しやすくなります。ほしいものがあるときや少し値段の高いものを買うときは、おこづかいの中から少しづつ貯金し、お金が貯まったら買うように心がけてみましょう。

日	おこづかい	お金の残高
1/1	おこづかい 1000円	1000円
1/2	おこづかい 50円	950円
1/3	おこづかい 400円	550円
1/4	おこづかい 100円	450円
1/5	おこづかい 100円	350円
1/6	おこづかい 100円	250円

保護者の方へ 指導のポイント

- 子どもが健全な金銭感覚を身につけるためには、子ども自身が我慢したり限られたおこづかいの中からやり繰りしたりすることが大切です。買い物内容に応じて「これは本当に必要な?」「少しづつ貯金して買おうね」「次のお年玉で買おうよ」などと助言しましょう。
- おこづかいを渡すタイミングや金額、買うものの範囲などのルールを家族内で決め、おこづかい帳をつけさせましょう。そしておこづかい帳を写しながら、お金の正しい使い方ができているのかを子どもといっしょに話し合うようにしましょう。

かしい
買いたいものがなるよう、
見守るのじや!



考えてみよう! を考えるヒント
カードは本当に必要なものかな? 今だけでなく、先のことでも考える必要があるよ。買おうと決めているものがあれば、その分のお金を別に入れておいて。